

平山陽創立40周年記念 剣岳合宿報告

基礎_{or} 出逢!

8/13(金) 20:00 平塚駅集合。天気はあまりよくならしい。

が、2人の大志の山行のせいか、心は踊る。

新宿駅で恒例の乾杯。急行ピロリスも昔のよか
大行列ではない。学生は既に入山してほめたのが、

社会人っぽい人ばかり。その中で、はたして旧友と再会。

団体予定と共に胸の抱きは、今もはりばり差、こぼ
らしい。今回は 源治郎、ハッ峰から剣岳狙いと。14(土) 雨 5:00 信濃大町着。冷房の効き過ぎで、2人2
1ピロリスに占領し結構お寝た。おにぎり2
個まで入る(4500円くらい)予定ではトヨ-ピリスを途中で下りて雷殿から立山
越えのはずだったが、ひどい雨風と残雪が多いと
から、室堂までいきに行こう。私は富山から
入ることが多かったので、景色が見えなくてはいけ
ない。剣岳の多い長野側からのアソビにはおもしろい。8:30 室堂で外に出ると、風雨は予想以上に激しい。
気温も10℃を越えて結構寒い。剣へは6度入
るが、こんなに天気の悪い時も珍しい。とにかく最短
距離で剣沢へ向う。10:45 別山乗越。ここには剣と村面宿のせが、
全然見えない。おにぎりで冷えるので、テントの中で
早く暖かいお茶が飲みたいけど...11:15 剣沢着。話によると平山陽旗が掲げると
いうので探すが、たぬし マニエテテ場、見当も
つかない。それとも山奥近く、ボウリングパークの
そばには HIRATSUKA と書いてテントを見つけた。
声がかけると、石川さん(平塚山岳会)が出て
きた。木倉までテントを張り、早速2人で屋敷
に入る。

8/14(土) 午後に空と雨が止んだので、つかの向、外で着干し、岩登りに楽しんだりする。山びこ、登高会も到着し、15:30に一同顔と合わせる。寒風の中、ビールを飲みながら先輩ら…。天気図の時間も近づいたので、あとは早急に引きあげる。夕食はうどん可也。山で全卵にありつけるのは嬉しい。

8/15(日) くもり。4:30起床。明け方まで雨が降り、起るとも。

外の視界は悪く、頂上アタックは心配。

6:30 干-フリ-9 井出さんより、「全体でのアタックは中止ある。各会毎に行動してほしい」と決定され、結局、山びことコマツのみ 剣へ向うことになり、他は下山又は、立山往傍。

6:50 山びこに10分程遅れで出発。歩き出すとだんだん青空が広がり始め、気温も上がりしてきた。既にカニの蹤は、付近に人影が並ぶ。これは「順番待ち」になるかもしれない。剣山荘前で、山びこに遅い行く。この後もペースに戻らず、坂を攻め、声もかけながら進んだ。

7:30 一服剣。干ガルマ、イワカミ、キボウヤ… 山も同じ頃の時期に同じ山に来るので、憶える花のレイアウトも変わらぬ。前剣がそばに立つ。あつかり良い天気、雲の流れは速い。

8:30 前剣。

9:50 タテバエの待つことはなく、ほどなく山頂。天気もよい。遠くは立山連峰、遠くに槍の穂先も望めた。やはり剣はいいなあ。

おんむりと昼食、ピクニックと食べ、山びこさんと写真と撮り、登山の感謝の言葉を述べた後

10:30 下山。カニのヨコバエに過ぎると、ホッとある。乾いた岩が気持ちいい。

- 8/15(水) 12:10 一服剣。本当にこのうからの雨がうそのような
好天だ。といわけて。テニ場に着いたら
あれもしたい、これもしたいと盛りあがる。
- 13:10 剣沢着。…まあはビーンとこまらまい!!
ショウフやら何やら、干しながら、ボーン…
竹本君は頭が痛いとかど、早々にテニ場の中
でのびている。米田とてきて、夏山ならどはの
天然水を食べるとあると、まあまあ雨。夕立ら
かと思いきや、結局翌朝まで、降り続ける。
せいかと乾いた雨具も濡らす。悲しい雨の夜となる。
夕食はカーハンとつかしスーフ。竹本君のうー油
攻撃に、今回はなんとか対策をこらわは…
高直のせいか、日焼けのせいか、みんな少し頭が
痛くて、この日はお酒を飲まなかった。唯一北川
さんは絶好調だった。北川さんはよく食の
お楽しみ。

8/16(木) ぐり。風強い。

- 4:00 はきりしない天気。視界悪い。北川さんは内蔵師
谷はせめて、雷鳥沢からハミあげると早々に決定
他の2人も気が向かないとのことなので、予定の
阿曾原への下りは、泣く泣く断念。4人で
下山することにある。私はとてども投げやりになら
ず。本人気なとこめんなさい。
- 6:40 撤収。伊藤さん(平塚山会)、石川さん(登会)
らの見送りを受け、出発。彼らは天候の回復を待ち
利へアタリ、明日以降、阿曾原へ下りという。
- 7:20 展望もない道で雷鳥親子の登場が少し和む。
月山無越で先程の登高会、長岡さんに追
つく。「大きな荷物なのに早いからね、お早いからね」
等とおぼてま方に称賛されるが、到着直前までおぼてま!

皇堂着。

8/16(月) 9:30 硫黄の地獄谷までくると、もうすっかり観光地。
 それらがいた少女が「絶妙のタイミングで」
 「くっさ〜い」との反響のど、私はおもて自分の
 ことではあるまいな... と冷や汗。
 えんにしてもおいしいん 天候はよくはないけど、大日は、
 くもり、丘もはまり、おまけになどり惜しい。斜め
 のぞいてみる。又いぼりの北Pのスケールの大きい
 緑と雪けいか 本当は名残惜しい。

大町駅近く、七倉荘(?) という小さな旅館で
 お風呂に入り、「こぼやし」というなかなかおいしい
 えび屋で お腹を満腹した。

..不完全燃焼の夏休みになりました。

携帯の1冊は、「ルウエーの森」じゃなくて、皇麻土
 にあんなに合った...